

はやわた 「早渡ふじ公園」が完成しました！！

小野町大字吉野辺字早渡地区に元気ふくしま、地域づくり・交流促進事業で整備していた「早渡ふじ公園」が平成29年7月に完成しました。

公園は右支夏井川の淵と溪流、藤の花、^{いほしそう}疣地蔵などの豊かな地域資源を多くの人に親んでもらえるよう、地元産の早渡石による飛び石や護岸、駐車場などと整備をしました。

またこの地区には、約300年前の江戸時代の頃の石仏とされている「早渡地蔵尊」があり、その中でも「疣地蔵」と呼ばれている地蔵尊は疣をこすりつけると治してくれると言われ、昔は多くの人がこの地を訪れたそうですが、その疣地蔵は草むらに隠れてしまっていました。

そこで、広く知ってもらうために公園入口に移設し案内看板も設置しました。

これら整備によって早渡ふじ公園は、新たな魅力ある地域資源となりました。

また平成29年11月2日には、県中建設事務所と地元団体、小野町で共同施設管理の覚書を交わし、さらに魅力ある場所にするためにイベント等を実施して活用していくこととなりました。

整備箇所



移設された疣地蔵と看板



締結式の様子



早渡ふじ公園



早渡ふじ公園で遊ぶ子ども達

しょうなんこ
白河市の小南湖公園についてご紹介します！

平成 25 年度から平成 29 年度に白河市中心市街地地区の都市再生整備計画事業で整備している小南湖公園について紹介します。

白河市中心市街地地区は、市街地の空洞化や都市機能の分散化を背景に、交流人口の増加や中心市街地の回遊性を高めるため、歴史的・文化的資源を活かしたまちづくりの一つとして小南湖公園を整備することにしています。

小南湖公園のある地域は、「白河風土記」によれば、寛永年間(1624~1643)に初代白河藩主となった丹羽長重が、この地を菩提寺建立の地としたと記されています。

文献資料などから、丹羽家の大隣寺、本多家の久松寺、松平(奥平)家の天祥寺など様々な寺院が置かれたことが確認され、白河藩を治めた大名家のうち丹羽長重、松平(結城)直矩、松平(結城)基知、松平(奥平)清照の墓地が、小南湖公園の丘陵地にあります。

谷の中央に存在する池は、絵図から寺院の一角に存在したものと考えられ、明治時代の末に、有志により池園として整備が図られ「小南湖」と称されるようになり、現在もこの名で

親しまれています。しかし私有地であり、十分な管理が出来ないことから、市が取得して公園として整備することとしました。

今回事業では用地を取得し、森林を伐採して修景を図ったほか、園路、四阿、駐車場、池の修景を図っており、市民に親しまれる新たな観光スポットになっています。

ぜひ一度訪れてみてはいかがでしょうか！



修景整備を行った小南湖公園



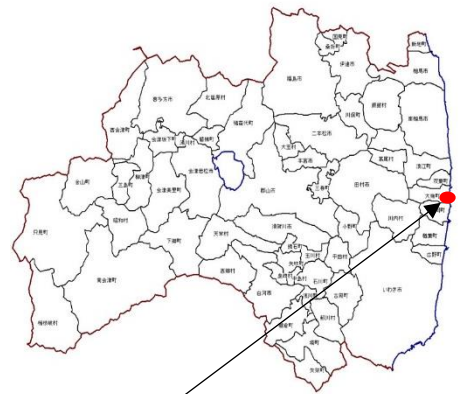
四阿

大熊町大川原地区一団地の復興再生拠点 市街地形成施設事業の起工式が行われました

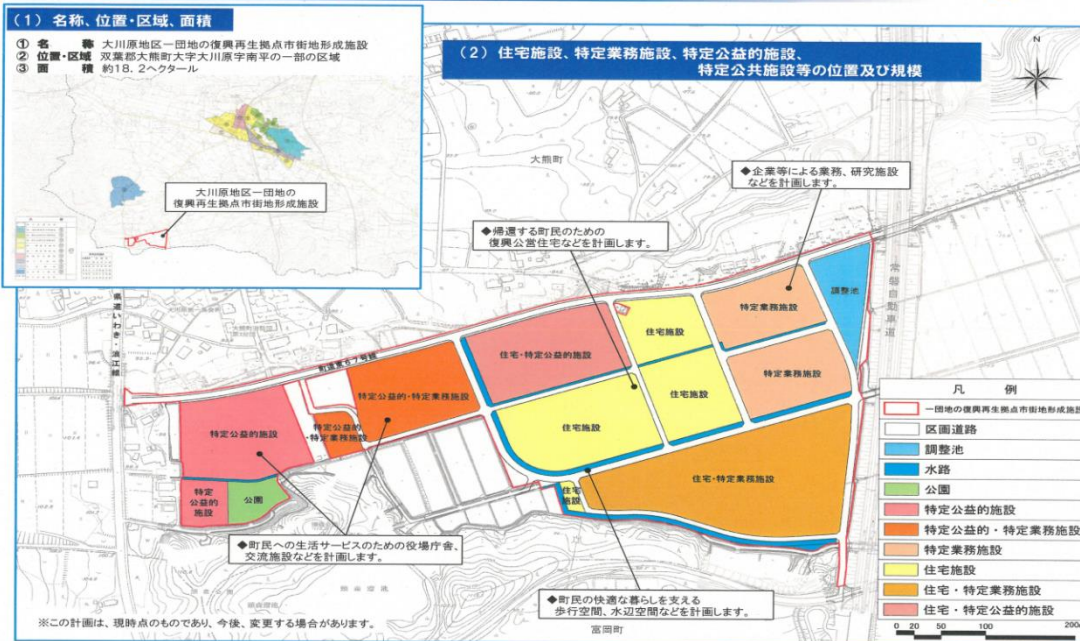
東京電力福島第一原発事故による全町避難続く大熊町の大川原地区で、平成29年9月30日、拠点整備事業起工式が町関係者ら120人が出席し現地で行われました。

復興拠点は、町南部の常磐道西側の大川原地区に面積約18.2ヘクタールが造成され、役場新庁舎や災害公営住宅50戸のほか、交流施設、デイサービスなどの福祉施設が建設され、商業施設や企業向けの用地も確保される予定です。

土地の造成事業費は、約50億円で、2020年3月末を完成予定としています。



1 都市計画の案の概要



鍬入れ



安全祈願祭

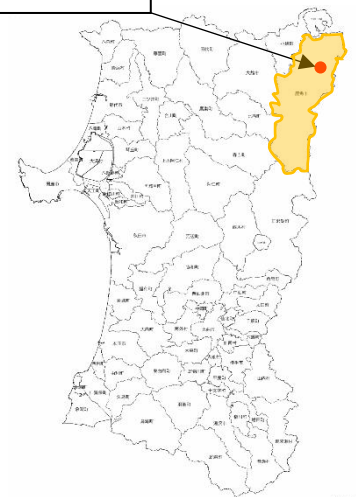
平成29年度 北海道・東北ブロック 都市再生整備計画研究会が開催されました！

平成29年10月12日から10月13日の二日間にかけて秋田県鹿角市で、「平成29年度北海道・東北ブロック都市再生整備計画研究会」が開催され自治体の担当者60名ほどが出席しました。

この研究会は、地域主導の個性的なまちづくりを推進し地域の抱える課題の解決に関し、情報交換、研究及び、啓発等を行い、都市再生整備計画事業の促進を図ることを目的に毎年実施されています。

都市再生整備計画事業 「鹿角市中心市街地地区」

秋田県鹿角市



今回の研究会で秋田県内の都市再生整備計画事業を実施した2地区を視察しましたので紹介します

秋田県鹿角市は、北東北三県のほぼ中央に位置し、江戸時代初期に発見された金山の補給地として大いに賑わい、その後歴史ある商店街や JR 鹿角花輪線の立地などにより栄えてきましたが、現在は人口減少による人口の空洞化と高齢化で地域の活力が低下していました。その問題を解消するために、都市再生整備計画事業により文化交流拠点の形成及び生活基盤の整備を実施してにぎわいの再生と生活利便性の向上を図りました。この事業の目玉となるのが地域交流センターである文化の杜交流館「コモッセ」で、郊外へ移転した大規模病院の広大な空き地を活用し地域の活性化を図りました。

コモッセ内には文化ホール、花輪市民センター、子供未来センター、花輪図書館など様々な施設があり、毎月多くのイベントが行われるなど、人々の集いの場となっています。



コモッセ内の様子



木材をふんだんに使用した
文化ホール



森をイメージした柱の
モニュメント



図書館内にある
子ども用トイレ

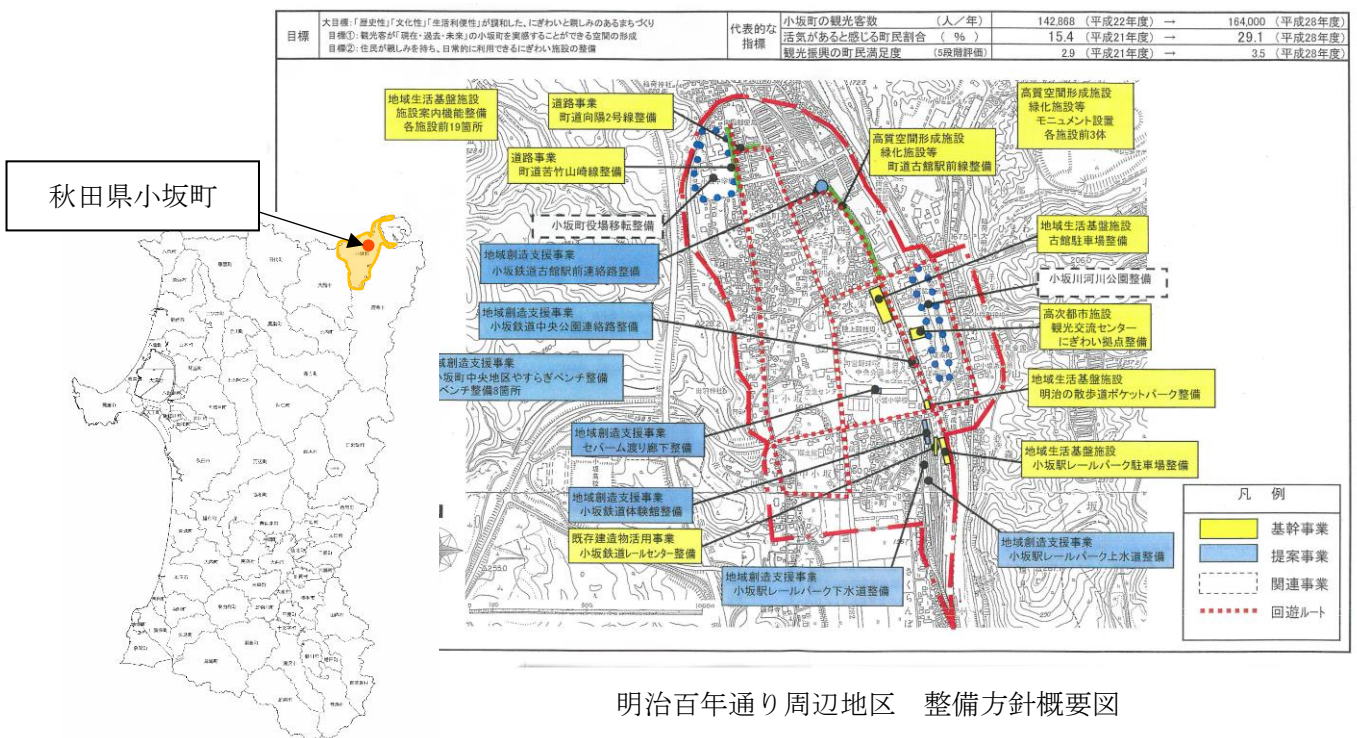
都市再生整備計画事業 「明治百年通り周辺地区」

秋田県小坂町は、江戸時代末期から金、銀、銅の採掘が行われてきた鉱山の町で繁栄し賑わっていましたが、鉱山の閉山に伴い、かつての賑わいを失ってしまいました。

この地域には数々の近代化産業遺産が現存しており、小坂町ではこれらの近代化産業遺産や現地現存する中では日本最古となる芝居小屋「康楽館」(国指定重要文化財)を活用して町の賑わいを取り戻そうと、都市再生整備計画事業に取り組みました。



康楽館



地域には、明治42年に開業してから廃線するまで100年間走り続けた鉱山専用線の小坂鉄道施設があり、これらを体感型鉄道テーマパークとして整備することで、「歴史性」「文化性」が調和した、賑わいと親しみのある施設となりました。

体感型鉄道テーマパークは、「小坂鉄道レールパーク」としてオープンされ、小坂鉄道全盛期時代の車両を動態保存しているほか、乾電池メーカーのCM撮影で実際に使われた車両の展示や、廃止された寝台特急「あけぼの」を簡易宿泊所として整備するなど、鉄道マニアだけでなく子供からお年寄りまで幅広い年代に人気のある施設となっています。



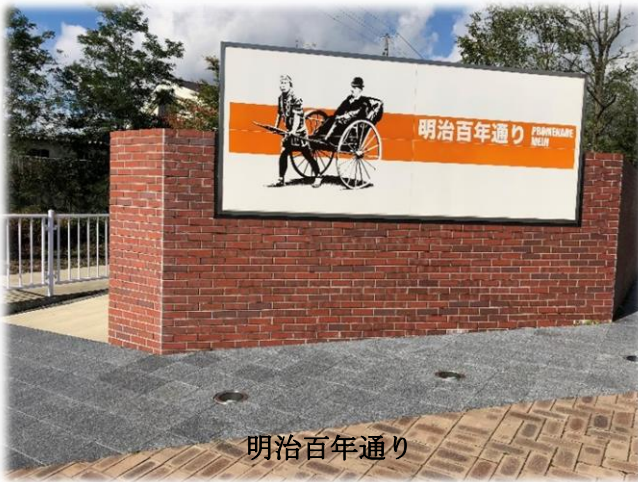
小坂駅駅舎

「小坂鉱山事務所」の建物はにぎわい拠点（観光交流センター）として移築復元され、お土産の購入や軽食が楽しめるおしゃれな空間の施設となりました。

他にも小坂鉄道沿線の桜並木を遊歩道として整備し、モニュメント、情報板、ベンチの設置をすることで明治百年通りのさらなる魅力アップにつなげました。

これら整備を行った都市再生整備計画事業は、テーマの設定、まちづくりのアイディア、計画策定のプロセスの3つの観点から特に優秀な地区として認められ、平成27年度まち交大賞で創意工夫大賞を受賞しました。

ぜひ訪れてみてはいかがでしょうか！



明治百年通り



移築復元された小坂鉱山事務所



展示されている SL



実際に運行していた車両

土木部メールマガジン登録受付中!!!

土木部メールマガジンでは、土木部の取組みや情報を定期的に発信しています。最新号のメール配信を希望の方は、メルマガ登録をお願いします。

これまでに配信したメールマガジンについては、土木企画課のホームページ（<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41025a/doboku-mm.html>）からご覧いただけます。

メールマガジン（無料）の配信をご希望される方は
【土木部メルマガ希望または、解除】



をお書きのうえ下記アドレスまで
メール送信して下さい。

doboku_mailmagazine@pref.fukushima.lg.jp

土木企画課（システム担当） 024-521-7886

【まちづくり瓦版 発行元】
福島県土木部まちづくり推進課

TEL 024-521-7511
FAX 024-521-7956
e-mail machizukuri@pref.fukushima.lg.jp
URL <http://www.pref.fukushima.lg.jp/machizukuri/>

次ページより「平成29年度地域づくり交流会」についてお知らせします